

# INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL  
30  
2012

## ●特集 地域に密着した最先端医療

DOCTOR'S VOICE 01 眼科医療のスペシャリストを拡充

DOCTOR'S VOICE 02 肝疾患診療の拠点病院機能の充実

DOCTOR'S VOICE 03 女性医師支援プログラムのサポート

センター・施設トピックス



患者から学び、患者に還元する病院

愛媛大学医学部附属病院

## 専門性の高い医療と先進的研究で、地域の眼科医療を支える

大橋裕一 医師

現在、眼科地域医療においても医師不足は深刻な問題となっています。当科では基幹病院と連携して若手医師の育成に力を入れると共に、2つの寄附講座「地域眼科学講座」「視機能再生学講座」を立ち上げ、地域に質の高い医療を提供しています。

「地域眼科学講座」は愛媛県と白井病院の寄附を受け、地域において専門性の高い医療を安定的に提供することを目的に本年4月からスタートしました。高齢化の進む過疎地域では眼科医療に対するニーズが非常に大きにも関わらず、人材不足などから専門的な医療を提供することが非常に難しい状況です。そこで、県立南宇和病院を中心に県内医療を支援する「地域医療支援部門」と、香川県にある白井病院を中心とした医療圏に対して専門性の高い医療を提供する「地域拠点再生部門」を設置し、当院から人材を送り医療を提供しています。「視機能再生学講座」は南松山病院の寄附を受け、緑内障や神経保護、角膜再生に関する基礎研究を行っています。緑内障は加齢とともに進行するため、高齢化が進む愛媛県では今後さらに患者数が増えると思われます。当講座では、南松山病院などの医療機関と共同で緑内障患者のデータを収集し、疾患の進行や治療経過などを精力的に研究しています。また、自分の皮膚細胞を用いて角膜上皮を再生する世界最先端の研究を行っ

ており、将来の視機能再生や視神経保護のため、新たな医療技術の開発に取り組んでいます。

平成22年から「屈折矯正センター」を開設しました。レーシック手術などの近視治療や、白内障術後の老眼対策を行っています。現在、全国で100万件以上のレーシック手術が行われていますが、トラブルも少なくありません。当センターでは、最も安全な手術が可能といわれるフェムトセカンドレーザーを国立大学で初めて採用しています。術前から術後まで専門医が一貫して担当し、一人一人の生活スタイルや仕事に合わせた治療を行いますので、安心して手術を受けていただくことができます。

人間が獲得する情報の約80%が視覚を介していると言われるほど、眼球は重要な器官です。眼科医療のスペシャリストとして、今後も地域の眼科医療を支えていきます。

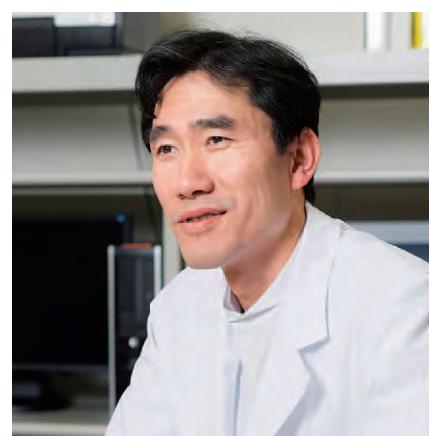


### PROFILE

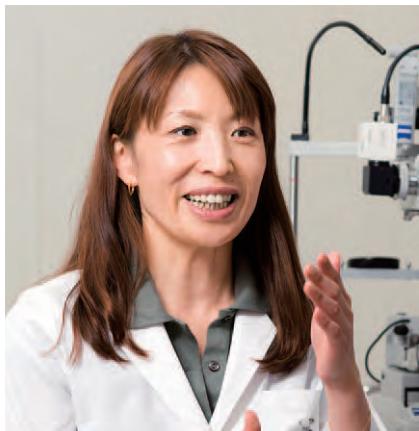
おおはしゆういち◎大阪大学医学部卒業。1992年より愛媛大学医学部眼科学教室教授に就任。2003年から愛媛大学医学部附属病院長。2006年から愛媛大学の理事・副学長。趣味はギター、音楽鑑賞(ビートルズ)。



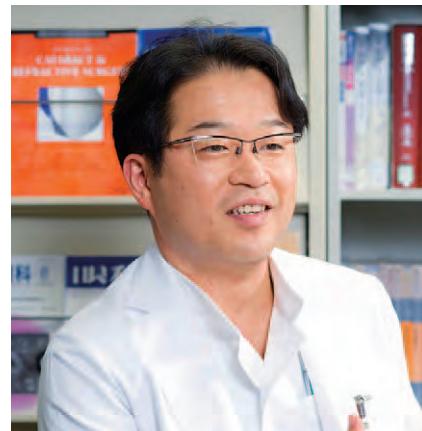
宇野敏彦医師（地域眼科学講座担当）



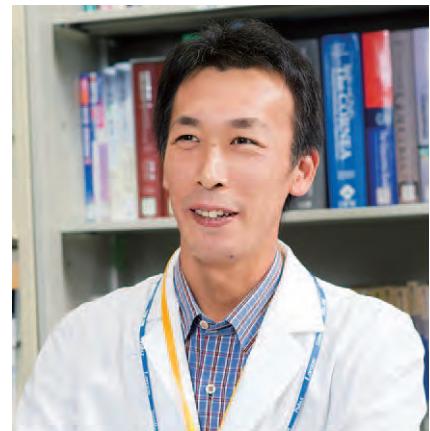
鄭曉東医師（地域眼科学講座担当）



原祐子医師（屈折矯正センター）



溝上志朗医師（視機能再生学講座担当）



小林剛助教（視機能再生学講座担当）

## 拠点病院として肝疾患診療の充実と向上を支援する

肝疾患診療相談センター長 日浅陽一 医師



### PROFILE

ひあさよういち◎1990年愛媛大学医学部卒業。卒業後、当院勤務。その後、松山赤十字病院、大洲中央病院勤務を経て再び当院へ。先端病態制御内科学准教授兼任。肝疾患を中心とした消化器疾患の診療、研究に従事。趣味は音楽鑑賞。好きな音楽はブルームス、モーツアルトとビートルズ。

当院は平成20年に愛媛県の「肝疾患診療連携拠点病院」に指定されました。現在は、肝疾患診療相談センターが中心となって地域における医療連携の促進や患者さん及び他医療機関への情報提供を行っています。

当センターでは、肝疾患の患者さんやご家族からの相談を電話やFAX、メールで受け付け、肝臓専門医が対応しています。また、「肝臓病教室」を2カ月に1回程度開催し病気に関する最新の情報を説明するほか、栄養部と連携し集団栄養指導を実施しています。肝臓病教室には他の医療機関に通院されている方も参加可能です。県下の医療機関や行政に対しても勉強会等を通して情報提供を行い、県の肝疾患診療のレベルアップを図っています。更に啓発活動

にも力を入れ、今年7月28日の「世界肝炎デー」に合わせて大街道にて街頭キャンペーンを実施しました。当院の看護部や栄養部のほか、愛媛県健康増進課や松山市保健所など総勢60名のボランティアスタッフが集まり、検診の受診や肝疾患に関する正しい認識をもってもらうよう呼びかけました。

センター開設から3年が経過し、相談件数も肝臓病教室の参加者も増加してきています。今後も拠点病院として、県全体の肝疾患診療の充実と向上を支援していきます。



## 女性医師がもっと働きやすい職場環境を目指して

副病院長 藤山幹子 医師



### PROFILE

とうやまみきこ◎愛媛大学医学部附属病院・皮膚科助教。1989年愛媛大学医学部卒業。卒業後、当院勤務。その後、松山市民病院勤務を経て再び当院へ。薬剤性過敏症症候群の研究を中心に活躍。趣味は読書。

この度、平成24年7月1日付で副病院長に就任いたしました。主に、女性医師への支援と支援に関わる業務の病院長補佐を担当します。今まで女性医師部会の会長として女性医師への支援に携わってきましたが、更に手厚い支援を行うため副病院長として活動していくことになりました。

私の役割は、当院で働く女性医師の抱える問題や要望を拾い上げ、病院として問題の解決や要望の実現に取り組むこと、また当院で実施している女性医師支援プログラムのサポートを行うことです。現在、当院にはマドンナドクター養成プロジェクトなど、女性医師を支援するための仕組みがありますが、まだまだ改善するべき点が多くあります。医師が不足している現状では、女性医師に結婚後、出産後も働き続けて

もらうための環境づくりがますます重要になっていきます。ワーキング等を通して女性医師たちの意見をしっかりと聞き、対応に向けて病院への働きかけを行っていきたいと思います。また職員支援の窓口の一本化などにも取り組んでいきたいと考えています。女性医師への支援だけに関わらず、職員のみなさんに自分が受けのことのできる福利厚生について正しく認識し、活用してもらえるような体制を作っていくたいです。

現在、女性医師への支援は大学病院だけではなく、多くの病院で問題になっています。当院で女性医師支援のシステムを確立し、他の病院のモデルとなることが求められていると感じます。試行錯誤をしながらではありますが、女性が働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

# 愛媛大学医学部附属病院 センター・施設トピックス

お気軽にご相談ください

## あいあいキッズの増築



子育て支援、職場環境整備を目的として平成19年4月に設置された院内保育所「あいあいキッズ」。増え続ける入所希望者に対応するため、平成24年8月に増築いたしました。増築棟では病児保育室3室を設置、学童保育（小学生対象）を実施できるようにし生後8週～12歳までの子ども達の保育ができるようになりました。また隣接する看護師宿舎の裏庭を整備し、子ども達の遊び場として新たに活用しています。

人事労務課職員チーム  
TEL 089-960-5129



## 緩和ケア研修会の開催



平成24年8月4日（土）・5日（日）に「愛媛県緩和ケア研修会」を開催しました。この研修会は平成21年度から毎年開催しているもので、今年度は医師14人、医師以外の医療従事者（看護師、薬剤師、心理士）30人が参加しました。これからも引き続き研修会を実施し、愛媛県のがん診療体制等の向上を図っていきます。

## 文部科学大臣の視察



平成24年9月10日（月）に平野博文文部科学大臣及び同省の瀧川和弘学術機関課長が来県。本学のプロテオミクスコア・ラボラトリーをはじめとする各ラボラトリーや、地域医療支援センターで医療トレーニング機器を使った学生の実習風景等を視察されました。視察後、大臣から「大変良いモデルであると感じた。世界レベルの研究もなされており、文部科学省でサポートできるものはしていきたい。」旨の感想が述べられました。

## 明日の医療を担う 臨床研修医選考試験、看護師採用試験の実施

8月10日（金）及び8月24日（金）、地域医療支援センター 1階講義室にて平成25年度愛媛大学臨床研修医選考試験を実施しました。試験には愛媛大学生52名、他大学生16名の合計68名が受験し、両日共に愛媛大学における臨床研修について説明の後、筆記試験及び面接が行われました。

また7月28日（土）～30日（月）の3日間及び9月10日（月）、来年4月採用の愛媛大学看護師採用試験を実施しました。100名を超える受験者達は一様に緊張した面持ちで試験に臨み、試験後行った当院看護師との懇談では看護師として働く自身に夢を膨らませていました。来春、今回選考された方々が病院の中に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。

研修医選考試験：総務課臨床研修チーム TEL 089-960-5098  
看護師採用試験：人事労務課人事チーム TEL 089-960-5127

## オープンキャンパスの開催



8月8日（水）の愛媛大学医学部オープンキャンパスには約400人の高校生らが参加しました。医学科では模擬授業、各講座や病棟を見学し最先端の医学や医療について学びました。看護学科では学習内容や学生生活、入試の説明、模擬授業や看護学演習体験等も行いました。参加者からは両学科への進学意欲が高まった等の感想を寄せいただきました。

学務課教務チーム  
TEL 089-960-5175

## 編集後記

深秋の時期、本号では屈折矯正センター並びに高度眼科医療、肝疾患診療相談センター、女性医師への環境整備支援などを掲載しました。高度先進医療、地域医療について今後もご支援をお願い申しげます。

愛媛大学医学部附属病院広報委員会委員長  
高田清式

◎表紙  
フェムセカンドレーザーによるレーシック手術



# 愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 ☎ 089-964-5111(代)

ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>